出てきた役人は、農民の訴えを聞き 農民は、ついに郷宿などの打ち壊し ました。やがて、城から年貢の減免 を始めました。そこで、田中城から 4000~5000人ともいわれる は乱暴を戒めましたが、集まった

び掛けました。その日、五郎右衛門 下へ集まれ」と田中藩80カ村に呼

が立ち上がり「11月23日、田中城 この時、細島村の増田五郎右衛

五郎右衛門 一揆とは

1816年(文化13年)、志太地方で

増田五郎右衛門の肖像画

十カ村民を救った六合の偉人

帰村していきました。 が伝えられたので、農民はそれぞれ

罪とされました。1818年6月28 門は自ら名乗り出て、家屋敷没収・死 投獄され苦しむのを聞き、五郎右衛 謀者を探索しました。多くの村人が 日、五郎右衛門が42歳の時でした。 その後、藩の役人はこの行動の首

として引き継がれています。 した。それは現在まで、東町夏祭り て、農作業を1日休み供養を続けま 年命日になると「首切り正月」といっ 人々は、丁寧に葬り、慰霊のために毎 亡きがらをもらい受けた細島村の

民主化のお手本とし

とても収められませんでした。

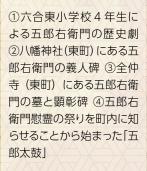
の暮らしは立ち行かなくなり、年貢は 風で、建物は倒れ、作物は実らず、農民 農民一揆が起きました。この年の台

れたのです。 自主的精神が、民主化のお手本とさ 盛大に催されました。五郎右衛門の 戦後民主化期の1949年には「民 地の六合村青年団が細島村の八幡神 主まつり五郎祭」が志太地方全域で 社に「義人碑」を建てました。また、 大正デモクラシーの頃には、出生

江戸時代、飢饉に苦しむ農民のため、田中城(現藤枝市田中)への直訴を 指揮した細島村 (現島田市細島) 出身の庄屋 「増田五郎右衛門」。 自らの 命をかけて村人の生活を守った姿は、後世に語り継がれています。没後 200 周年を迎える今年、六合地区で記念祭や関連イベントが行われます。

⑬文化課 ☎ 36-7967 唧增田五郎右衛門 200 年記念祭実行委員会 ☎ 35-1713









午後3時45分から

出演/六合東小学校 4年生

増田五郎右衛門

◎講演 義人増田五郎右衛門について ところ/東町公会堂「ひなた」 とき/午前10時から 7月21日出

◎朗読劇 増田五郎右衛門物語 講師/田中城保勝会 塚本清一氏

公演/びくの会

とき/午後1時から

◎墓前祭(全仲寺)午後1時から

◎碑前祭(八幡神社) 午後2時から

◎演劇 村を救った増田五郎右衛門 ◎講演 増田五郎右衛門(六合東小学 校体育館)午後3時から 講師/郷土史研究家 枝村三郎氏 (六合東小学校 体育館)

ちょこっとプラスツアー まだ市民遺産

地を巡ります。また、増田五郎右衛門 増田五郎右衛門義人碑などゆかりの りやすくその功績を学びます。 没後二百年祭の行事にも参加し、分か とき/7月21日出午前9時30分~ しまだ市民遺産に認定されている、 午後4時

スケジュール/午前9時30分市役

申し込み/7月2日回以降に、電話 ※昼休憩は東町公会堂でとります。 持ち物/飲み物、昼食 ※東町公会堂から義人碑および全仲 寺には、徒歩で移動します。 3時 源昌寺→午後3時30分 生家 見学→午後1時40分全仲寺→午 所駐車場集合→午前10時~午後0 跡→午後4時 市役所着 後2時 田中城下屋敷公園→午後 年記念祭→午後1時20分 義人碑 時30分 増田五郎右衛門没後二百 で文化課へ(定員20人。先着順)

五郎さんを知ってもらう機会に

らえたらと思っています。 偉人として語り継いできた存在で に、広く五郎さんの功績を知っても 産ツアーを機会に、市民の皆さん す。この「没後二百年祭」や市民遺 と東町夏祭りで劇を披露し、地域の 衛門について勉強し、4年生になる 六合東小学校では、3年生で五郎右 郎右衛門は「五郎さん」と呼ば れ、地域で親しまれています。



東町自治会長 増田正弘さん

没後二百年記念祭

午前10時40分から 午前10時から

7月22日(日)